

**（件名） 天皇誕生日祝賀レセプションでの北海道産品 PR について**

- ・2/27、北京で開催された天皇誕生日祝賀レセプションに北海道ブースを設置し、北海道産品の PR を実施しました。概要は次のとおりです。

**【2026 在中国日本国大使館天皇誕生日祝賀レセプション】**

- ・日 時：2026年2月27日（金）18:00～20:00
  - ・会 場：在中国日本国大使館大使公邸
  - ・出展者：日系企業、日本の自治体
  - ・来場者：各国在外公館関係者、中国政府・企業関係者、日系企業関係者等約 900 名
- ・会場には食品を中心に、花き、工芸品、日用品、自動車など様々な品目の展示品が用意されました。日中関係が緊迫化する中での開催でしたが、非常に多くの来場者で会場は混雑し、各ブースが賑わいました。
  - ・北海道ブースでは北海道産の米、調味料、菓子、納豆、アルコール飲料の PR を実施しました。大使館と北京市内の日本食料理店の協力により、道産米と調味料を使った豚丼（海苔巻き）が振る舞われ、多数の来場者に道産食品の魅力を知っていただくことができました。
  - ・来場者からは、展示品の入手方法についての問い合わせやサンプルの提供希望があるなど高い関心が寄せられ、また、北海道ブースで PR を行った企業からは、「普段は会えない企業・団体の幹部と接点を持ち PR することができた」、「出展者間でも人脈を築くことができ有益だった」などの声が聞かれました。



北海道ブース



試食しやすいよう豚丼を海苔に巻いて提供

**（件名） 日本酒の中国市場展開に関するヒアリングについて**

- ・大連市で日本酒を中心に日本産品輸入事業を手掛ける商社を訪問し、日本酒などの販路拡大に関するヒアリングを行いました。主な内容は次のとおりです。

**■ 中国の日本酒市場**

- ・中国での日本酒市場の中心は上海。多数の商品が展開されており競合も激しい。一方で、大連は上海に比べると市場規模は小さいが、日本文化に対する理解もあり日本酒を受け入れやすい土壌がある。中国市場に踏み出す一歩として市場調査を行うならば大連は選択肢の一つとして有効。
- ・中国では日本酒を飲んだことのある人はそれほど多くはない。飲む場合は家族、親戚、友人など複数人で飲むことが多く、商品選びに失敗しないよう自分が知らない商品よりは有名なブランドの商品が選ばれる傾向が強い。

**■ 課題**

- ・輸入食品全般に賞味期限が課題。小売店に卸す場合、賞味期限の経過状況次第では取引を断られる。
- ・日本酒のパッケージは似通ったものが多いため、特徴がないと商品が埋もれてしまう。

**■ PR の方法**

- ・日本酒の主なターゲットとなる 20～30 代に向けては話題性が重要。SNS でのプロモーションやコンテンツ産業とのコラボなどが上手くできれば購買につながる。また、外装にも人目を惹く工夫が求められる。